東京大学大学院
工学系研究科
SCHOOL OF ENGINEERING, THE UNIVERSITY OF TOKYO

UNISEC
University Space Engineering Consortium

セミナー開催に関する 記事掲載の依頼

2012 年 3 月 22 日

報道関係者各位

東京大学大学院工学系研究科　中須賀　真一
大学宇宙工学コンソーシアム

第 2 回「超小型衛星国際ミッションアイデアコンテスト」
3 月 25 日（日）、慶応大学で日本セミナーを開催！
「ビジネスモデル部門」を新設し、超小型衛星の運用・マーケット開拓を促進！

東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻（以下、東大） 教授　中須賀真一および、NPO法人 大学宇宙工学コンソーシアム（理事長 北海道大学大学院工学研究院 機械宇宙工学部門宇宙システム工学分野 教授 永田晴紀、以下UNISEC）は、2012年に開催する第2回「超小型衛星国際ミッションアイデアコンテスト」（Mission Idea Contest、以下MIC）の日本セミナーを、3月25日（日）、慶応大学で開催いたします。コンテストへの応募を予定・検討されている方はもちろん、衛星ミッションのアイデアの作り方を学びたい方もご参加いただけます。急なご案内で大変恐れ入りますが、記事の掲載をご検討いただけると幸いに存じます。

MIC は、超小型衛星の革新的な利用方法を募集する国際コンペティションです。第 2 回 MIC では、第 1 回目に募集した「衛星設計部門」に加え、新たに「ビジネスモデル部門」を創設します。より広い分野の方からアイデアを募集することにより、技術者とは異なる視点を取り入れ、超小型衛星の新たな可能性を探り、裾野を広げていきます。また、「衛星設計部門」は、群衛星対象という制限を無くし、さらに重量上限も 15 kgから 50 kgへとゆるやかにし、より広い利用のアイデアを募集します。ファイナリストに選出されると、今年 10 月 10 日に名古屋で開催される最終プレゼンテーションに招待されます。「衛星設計部門」と「ビジネスモデル部門」それぞれのカテゴリーで優勝・準優勝者（チーム）を選ぶほか、学生チームの中で優秀賞も選出。また世界で最も権威ある学会組織のひとつである国際宇宙航行アカデミー（International Academy of Astronautics, IAA）の協力のもと、環境分野の最優秀賞として IAA 賞を創設します。

MIC 日本セミナー開催概要

日　時：　2012 年 3 月 25 日（日）15：30～16：30
場　所：　慶應義塾大学 日吉キャンパス協生館
　　（交通アクセス・キャンパスマップ　http://www.kcc.keio.ac.jp/
講　師：　白坂 成功（MIC 日本コーディネーター、
　　慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授）
　　（プロフィール：http://www.sdm.keio.ac.jp/faculty/shirasaka_s.html）
内　容：　超小型衛星ミッションアイデアコンテストの新ルールの説明
　　ファイナリストに選ばれるためのミッションの作り方
　　質疑応答　ほか
申し込み・問い合わせ：
　　info@spacemic.net まで、氏名、所属、Email を書いてお送りください。
　　（当日受付もいたしますので、申し込まなくてもご参加いただけます）

セミナー講師：
慶應義塾大学大学院 准教授
白坂　成功

※参加される方は、事前に< http://www.spacemic.net/requirements2.html >にアクセスし、内容のチェックをしておかれることをおすすめいたします。アブストラクトのテンプレートもダウンロード可能です。また、動画によるレクチャーもご覧いただけます。

「超小型衛星国際ミッションアイデアコンテスト」は「ほどよしプロジェクト」*の一環で、内閣府の総合科学技術会議で制度化された「最先端研究開発支援プログラム」（略称：FIRST プログラム）のもと、日本学術振興会を通して助成されています。（FIRST プログラム公式サイト http://first-pg.jp/about-us/nakasuka-shinichi.html）
*「ほどよしプロジェクト」：東京大学大学院工学系研究科（航空宇宙工学専攻）中須賀教授が中心研究者を務める「日本発の"ほどよし信頼性

本件に関する問い合わせ先：
大学宇宙工学コンソーシアム （UNISEC | University Space Engineering Consortium）
広報担当：足立 悦子　Tel: 03-5800-6645　E-mail: adachi@unisec.jp　www.unisec.jp

工学"を導入した超小型衛星による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築」プロジェクトです。

第２回「超小型衛星国際ミッション アイデアコンテスト」（MIC2）の概要

「超小型衛星国際ミッションアイデアコンテスト」は、「ほどよしプロジェクト」の８つの研究テーマのうち、テーマ１「超小型衛星用信頼性工学と実衛星開発を通した先進的衛星開発・試験・運用・利用手法に関する研究」の一環として開催されています。

名　　称: 超小型衛星国際ミッション アイデアコンテスト（Mission Idea Contest、略称：MIC）
主　　催: NPO 法人 大学宇宙工学コンソーシアム（UNISEC）
後　　援: 東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 中須賀研究室
審査部門: 1. 衛星設計とミッションアイデア部門
2. ミッションアイデアとビジネスモデル部門
対象衛星: 重量 50kg 以下
アワード:

衛星設計とミッションアイデア部門	優勝、準優勝
ミッションアイデアとビジネスモデル部門	優勝、準優勝
学生チーム	優秀賞
環境分野最優秀者（チーム）	IAA 賞（国際宇宙航行アカデミー賞）

スケジュール:

2011 年 9 月	募集開始
2011 年 9 月～2012 年 4 月	リージョナルセミナー開催
2012 年　5 月　1 日	要約論文提出締め切り
2012 年　7 月　1 日	ファイナリスト選出
2012 年　9 月　1 日	最終論文提出締め切り
2012 年 10 月 10 日	最終プレゼンテーション、受賞者決定 （国連・東大主催「超小型衛星シンポジウム」 於：名古屋）

使用言語: 英語
第 2 回審査員: 国際宇宙航行アカデミー 衛星・宇宙応用 テクニカルディレクター　ライナー・サンダウ氏
サリー サテライト テクノロジー社（英国） 会長　マーティン・スウィーティン卿
ステレンボッシュ大学（南アフリカ） 電気電子工学部長・教授ハーマン・スタイン氏
ティーチング サイエンス＆テクノロジー社 パートナー（米国） ジェリー・セラーズ氏
東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻教授　中須賀真一氏
サイバー大学 IT 総合学部長・教授　川原 洋氏
国連宇宙空間平和利用委員会（UNCOPUOS） 次期議長　堀川 康氏
北海道大学大学院 農学研究院教授　大崎 満氏
（株）ウェザーニューズ　新気象事業開発プロジェクトグループリーダー/ WNI 衛星プロジェクトグループリーダー　山本雅也 氏
（株）インヴィニオ　取締役/チーフ・ソリューション・オフィサー　高井 正美氏
日本 MIT エンタープライズフォーラム 理事　本橋 健氏
オフィシャルサイト：www.spacemic.net （英語のみ）

第１回「超小型衛星国際ミッション アイデアコンテスト」の実績

応募状況: 24 カ国から 62 件の応募
参加国: アメリカ合衆国、アルジェリア、イギリス、インド、ウクライナ、エジプト、エチオピア、カナダ、韓国、ケニア、シンガポール、スペイン、セネガル、チュニジア、ドイツ、トルコ、ナイジェリア、日本、ベトナム、ベネズエラ、ペルー、南アフリカ、メキシコ、リトアニア

本件に関する問い合わせ先:
大学宇宙工学コンソーシアム （UNISEC | University Space Engineering Consortium）
広報担当：足立 悦子　Tel: 03-5800-6645　E-mail: adachi@unisec.jp　www.unisec.jp